

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。ワンフロアのスペースですが、利用児童の特性に合わせて環境調整を行い、個別対応ができるスペースを作っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員全員が有資格者もしくは経験者です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		構造上の広さや入口やトイレの段差など、車いすでの利用ができない状態です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員全員で支援目標に沿っての振り返りや日々の目標設定の振り返りをミーティング等で行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様向けの自己評価表や送迎時に頂いた意見を参考に、業務改善に取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			株式会社ルートのホームページ上で更新しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に様々な研修には参加しており、自己研鑽に努めています。質の向上ができるように、今後も頑張りたいと思います。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づき、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所独自のアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングにて職員全員が話し合いをし、決定し実行しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		ルーティンを大切にしているので、どちらかという活動が固定化しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者様に適した課題を適宜、提供しています。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日は、個別活動と集団活動を主に行っています。休日や長期休暇には課外活動等を設定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員全員で話し合い、決定し実行しています。ミーティングを開催し情報共有や支援内容の確認等を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了時には、振り返りや気付いたことの確認を記録で残し情報共有をしています。翌日には記録の振り返りをしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援は施設運営システム（HUG）で記録を残しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			自立支援や制作活動、余暇活動のバランスを見ながら支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会には、児童発達管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の行事や下校時間の変更など、事前に確認を取りながら情報共有に努めています。送迎時にトラブルが生じた場合は、管理者あるいは児童発達管理責任者に報告し、対応するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な利用者様はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所や障がい児相談事業所に繋がっている利用者様については、就学前に情報共有させて頂いています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			これまでの支援内容の情報を就労事業所に引き継ぎをするようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			積極的に参加するようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		課外活動にて、交流するとき等があります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加はできていない状況です。今後管理者等が傍聴など参加していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳での記載や送迎時にお伝えするようにしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今年度は実施できていませんが、保護者様にアンケートで確認し、意見があれば実施していけたらと思います。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学時や契約時に説明させて頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	支援していく中で、この子にとってどのような関わりをしたらよいか情報共有しています。社内で情報共有の上、必要と判断した場合は、相談支援事業所や学校、他事業所との連携を図っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	各家庭の事情を配慮して、保護者会の活動は行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情に関しての意見を頂いた場合は、迅速かつ適切な対応し、支援員全員で周知徹底しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			施設運営システム（HUG）にて活動概要や行事予定をお伝えするようにしています。今後は支援時の写真なども増やしていきたいと思います。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には細心の注意をはらっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳への記入やできるだけ分かりやすく説明するなどの情報伝達をしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	外部との交流を設けておりません。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各々のマニュアルに関しては、職員間では必ず目を通すようにしています。保護者様への周知が行き届いていないため、早急に対応させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震を想した避難訓練の実施をしています。利用者様が曜日によって違う為、日々訓練していきたいと思います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の虐待防止・権利擁護研修の参加や社内でも定期的開催しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行うかについては組織的に決定し、お子さまや保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者様からのアレルギーしか確認できていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット記載時には、全員が確認するようにしています。